



高中だより



令和8年5月21日

5月号

杉並区立高井戸中学校

校長 陽田 登志意

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくましい人 よく考える人

2つの節目の年を迎えるにあたり【創立70周年記念誌より】

本校は、次年度開校80年の節目の年を迎えます。そのため、分掌に儀式的行事委員会を位置付け、次年度の周年事業に関わる業務をスタートしています。高井戸中の歴史を紐解く中で、これまでの節目の年に作成された記念誌や発行物の存在はとても貴重なものであり、在校生や保護者、卒業生、地域の皆様と共有したくなるようなエピソードを多く含んでいます。今年度、次年度と様々な機会を利用して、皆様にお伝えしたいと思います。

今回は「創立70周年記念誌」から何点かご紹介します。元管理職からの寄稿の中に、第19代池田武男校長からのメッセージがあります。以下、記念誌より引用します。

「校歌『高井戸中学校の歌』(池田校長 平成26、27(2014・15)年度)

いろいろ調べていくうちに、開校してから十年間は校歌が制定されていないこと、作詞金田一京助・作曲高木東六という当代の著名人が作った校歌は区内にもう一校あること、この歌には「高井戸中学校の歌」という題名(通常は「校歌」とするのみ)が付けてあること、それに呼応してか歌詞は決して校歌らしくなく「歌」という言葉がちりばめられていること、それはお二人が先に作られた校歌とも異なっていること、高木先生が歌いやすさを考えて元の歌詞に手を加えていること、そして、校歌には使うことのないリズムに挑んでいること、などが分かりました。

校歌は、行事や様々な機会に生徒や教職員によって歌い継がれています。年度の始めには、音楽の授業を中心に1年生が校歌の歌詞を覚え、歌唱の仕方を学んでいます。生徒の皆さんは、今度校歌を歌う際に、このエピソードを思い出してほしいと思います。

もう1つの節目である「アンネのバラ50周年」に係る取組は既に始まっています。春の公開はこの後の記事にもあるように大盛況でした。公開2日目の5月6日、6月6日(土)に実施する50周年記念シンポジウムにご登壇いただく4名の卒業生の方と学校支援本部の方々も交えて打ち合わせをしました。その後「創立70周年記念誌」を見ると、登壇者の坪松博之さんと晝場純帆^{ひろば}さんが卒業生の立場でコメントを寄せていました。以下、コメントの一部を記念誌より抜粋します。

「アンネのバラがやってきた」(坪松さん 昭和50(1975)年度卒業)

アンネ・フランクと出会ったのもこの頃だった。「アンネの日記」の感想文集をつくったのがきっかけだった。彼女が日記を書き始めたのが13歳の時、生涯を閉じたのが15歳、日記の中の彼女は同じ年頃の女の子だった。日本と同じアジアの国、ベトナムでは戦争が続いていた。いったい自分たちは何をしているのだろう、と雑木林の中に潜り込みながら悩んだ。やがて父親オットー・フランクがアンネの生命に捧げるバラを育てていることを知った。そのバラを育てることこそが今を生きている僕たちにできることなのかもしれない、と考えた。コバセン(小林桂三郎先生)に導かれ、さらに多くの方々のお世話になりながら「アンネのバラ」が高井戸中学校にやってくるようになった。1976年6月12日、バラの苗が到着した。僕らはすでに卒業していた。

「バラのバトンを繋いで」(晝場さん 平成28(2016)年度卒業)

ここまでバラが守られてきたのは、「このバラを絶やしてはいけない」という思いが全員にあったからだと思います。私は高中のこのアンネのバラという長い伝統に触れることができて、本当に良かったと思っています。伝統は繋いで来た人と思いが同じであれば、ずっと続くと思います。だからこそ、これから高井戸中の後輩に、ずっとこのバトンを繋いでほしいと思います。

シンポジウムには、保護者、卒業生、地域の皆様にもぜひお越しいただきたいと思います。

フレンドシップスクール

1 学年担任：中野 馨



4月28日(火)に筑波山にトレッキングに行きました。登山ガイドの方に従いながら、舗装されていない自然の道を歩きました。天気にも恵まれていて、季節の花々や鳥の鳴き声が山を彩っていました。山頂付近では、お弁当をおいしそうに食べている姿が印象的でした。ここでの経験を体育大会や学校生活にも生かして欲しいです。

アンバラ春の一般公開

地域連携主任：中野 馨



今年はさまざまなメディアに取り上げていただいたこともあり、4日間で2500人を超える方にお越しいただきました。ボランティアで協力してくれた生徒の皆さん、和太鼓部の皆さん、ありがとうございました。

生徒総会

生徒会担当：町田 忍

5月8日(金)に生徒総会が行われました。昨年度に引き続き2部制で行い、第1部では各専門委員会の前期活動方針の発表。第2部では「生活のきまり」について事前アンケートをもとに生徒会から「ポロシャツのシャツ出し」と「髪を下すこと」2つの提案をしました。



ルールの大切さを確認しつつより良い環境にしていきましょう。

小笠原派遣報告

2 学年主任：齋藤 奈央

3月19日(金)から3月23日(月)まで、2年A組の柘山仁美さんが小笠原自然交流へ行ってきました。『小笠原独自の生態系と保全方法』という自身のテーマと向き合い、現地で多くのことを学ぶことができました。



また、朝礼では全校生徒に向けて学んだ内容を発表しました。

教育実習生紹介

経営支援部：角屋 心愛

5月18日(月)より教育実習が始まりました。大村友人さん(数学科)大石凌仁郎さん(国語科)です。これからの3週間、生徒の皆さんとともに充実した学びの時間を過ごしてほしいと願っています。生徒の皆さんは、ぜひ多くのことを実習生から学んでください。

6月の予定

日	曜	全体	給食
1	月	生徒朝礼(フレンドシップ報告/体実委) (朝)安全指導(気圧) 学校公開 始 ⑤⑥いじめ防止授業[1] 尿検査2次予備	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
2	火	50×5 ⑥カット ⑥専門委(前3)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
3	水	45×4 ⑤カット	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
4	木	(放)中央委	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
5	金	⑥学(WEBQU)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
6	土	土曜授業(50×5) 学校公開終 教育実習終 ②③アンネのバラ 50周年行事 ④道徳授業地区公開講座	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
7	日		
8	月	振替休業日	
9	火	⑤⑥マナー講習[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
10	水	部活動停止期間 始 昼学活 ⑤生命(いのち)の安全教育	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
11	木	避難訓練	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
12	金	体力調査 終 (PM)音楽鑑賞教室[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
13	土		
14	日		
15	月	朝礼(表彰①) ①学(自由曲選択)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
16	火		1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
17	水	期末考査(理・音・技家)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
18	木	期末考査(数・英・保体)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
19	金	期末考査(国・社・美) (放)学実委(1) 部活動停止期間終	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
20	土	数検(1)	
21	日	漢検(1)	
22	月	①⇔⑥ 水泳指導 始 ⑥職場体験事前訪問確認[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
23	火	⑤⑥職場体験事前訪問[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
24	水	⑤進路説明会[3] (放)修学旅行保護者説明会[3] (放)アンバラ委(サ)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
25	木	(AM)歯科検診[全]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
26	金	①～⑤実力テスト[2・3]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
27	土	小笠原派遣成果報告会	
28	日		
29	月	①⇔⑥ ⑥職場体験前日指導[2] 生徒会役員選挙立候補受付開始 職場体験[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
30	火	(AM)口腔保健指導[1] 定期健康診断 終	1年 ○ 2年 × 3年 ○